

## 第 2 回 感染免疫応答セミナー

### “Intracellular DNA Sensors of Innate Immunity”

Prof. Glen N Barber

University of Miami, School of Medicine, Miami, FL

日時：平成 23 年 9 月 16 日（金） 17 時～

場所：医学部 大カンファレンスルーム

#### <概要>

Barber 博士は、病原体感染に応答した自然免疫誘導機構に関する研究で著明な業績をあげておられます。近年、自然免疫におけるパターン認識受容体に関する研究が著しく進んできましたが、ウイルスや細菌の感染あるいは細胞死によって細胞質に出現する DNA を介した自然免疫誘導機構についての理解は、未だ混沌とした状況にあります。Barber 博士は、細胞質 DNA に応答した I 型インターフェロンなどのサイトカイン誘導に関与するシグナル分子として、STING (Stimulator of interferon genes) を同定し、その必須な役割を明らかにしています (*Nature*, 455, 674, 2008; *Nature*, 461, 788, 2009)。今回は、さらに最近の知見を交え、細胞内 DNA 検知と自然免疫シグナル伝達、さらにその生理的意義と応用などについてレクチャーしていただけるものと思います。多数の方々のご参加と、活発なご討論をお願いいたします。

COE スタートアッププログラム「病原体感染と免疫応答の統合的解析拠点（感染免疫応答）」は、「自然免疫」研究を中心として、感染症および免疫性疾患の研究拠点形成を目指し、真菌センター・医学研究院・薬学研究院の研究者によって構成されるプログラムです。

連絡先：真菌医学研究センター・感染免疫分野 米山光俊

(内線：5929、E-mail:myoneyam@faculty.chiba-u.jp)